

I. 1H21総括

単位: 億円
+% = 前年同期比
QoQ = 前四半期比

FY21通期見通し・配当予想 上方修正 FY23中計営業利益率目標10%超へアップデート 法人ストック売上伸長で構造的増益・上期利益見通し大幅超過

	FY21上期実績		見通し	新FY21通期見通し		期初見通し	増益進展に伴い中間より増配		
	金額	増減%	金額	金額	増減%	金額	FY20実績	FY21期初予想	FY21今回修正
売上高	1,090.5億円	+7.3%	1,080億円	2,285億円	+7.3%	2,260億円			
営業利益	93.0億円	+77.6%	65億円	220億円	+54.4%	175億円			
営業利益率	8.5%	+3.3pt.	6.0%	9.6%	+2.9pt.	7.7%	■ 中間配当	29.75円	39.00円
当期利益	68.9億円	+148.8%	42億円	137億円	+41.1%	117億円	■ 期末配当	10.25円	23.00円
								19.50円	46.00円

ネットワークサービス (除モバイル)

◆企業のIT利用進展に伴いストック増収継続

- IPサービス(法人向け専用線接続) 1H21売上 66.2億円 +13.2% (1Q +13.7%、2Q +12.8%) 企業のIT利用増で広帯域化需要継続
- セキュリティサービス 1H21売上 104.3億円 +16.6% (1Q +15.0%、2Q +18.2%) 多様なセキュリティ需要で大幅伸長
- WAN(閉域網)サービス 1H21売上 128.8億円 +4.4% (1Q +4.4%、2Q +4.4%) SD-WAN等ネットワーク更新案件増

モバイル

◆法人・個人の両輪でインフラ継続拡大・スケールメリット追求

- 法人(除MVNE): IoT関連案件積み上げで高増収率継続 1H21売上 48.4億円 +38.9% (1Q +40.1%、2Q +37.8%)、MVNE想定通り進捗
- 個人: ギガプラン(21年4月~)で回線数純増へ回帰 9月末個人モバイル回線数 107.2万、うちギガプラン55.6万(新規3割、+9.4万QoQ)
・ IIJmio 顧客満足度1位との評価 (J.D.パワージャパン「2021年携帯電話サービス顧客満足度調査」MVNO部門)

SI

◆業界満遍なく活況なネットワークインテグレーション需要

- 複雑・多様化する企業NWシステムをサービスとSIで対応 1H21構築売上 154.7億円 +18.8% 構築受注 188.6億円 +24.4%
- 「IIJ GIO インフラストラクチャーP2 Gen.2」提供開始(21年10月~) 企業システムのフルクラウド移行を促進
- シンガポールSler(PTC)をM&Aで21年4月より子会社化 1H21連結影響: 売上 36.4億円、営業利益 1.2億円

トピックス

- 東証新市場区分「プライム」来春移行
- TOPIX500(Mid400)選定(21年10月)
- EU個人データ保護法対応のBCR承認取得(21年8月)
- マイクロデータセンター活用のエッジコンピューティング実証実験開始 他

- ・ FY23中計営業利益率の当初目標は9%超(21年5月発表)
- ・ 当期利益は親会社の所有者に帰属する利益を表示
- ・ FY20配当実績は2021年1月分割後ベース
- ・ SD-WAN: ソフトウェア定義の広域ネットワーク
- ・ BCR承認とは個人情報管理に厳格なEU基準に沿った取り扱いの包括的ルールを制定しそれがEU監督機関により承認されたということ

Ⅱ-1. 1H21連結業績サマリー

単位: 億円
YoY = 前年同期比

	売上高比		YoY		売上高比		YoY		売上高比	
	1H21実績 2021年4月～2021年9月	1H20実績 2020年4月～2020年9月			1H21見通し (2021年5月発表) 2021年4月～2021年9月	FY21新見通し (2021年11月修正) 2021年4月～2022年3月			FY21旧見通し (2021年5月発表) 2021年4月～2022年3月	
売上収益	1,090.5	1,016.6	+7.3%	+73.9	1,080	2,285	+7.3%	+155.0	2,260	
売上原価	78.8% 859.7	82.8% 842.1	+2.1%	+17.6	80.9% 874	78.2% 1,787	+3.5%	+59.8	80.0% 1,807	
売上総利益	21.2% 230.9	17.2% 174.5	+32.3%	+56.3	19.1% 206	21.8% 498	+23.6%	+95.2	20.0% 453	
販売管理費等	12.6% 137.8	12.0% 122.2	+12.8%	+15.7	13.1% 141	12.2% 278	+6.8%	+17.7	12.3% 278	
営業利益	8.5% 93.0	5.2% 52.4	+77.6%	+40.7	6.0% 65	9.6% 220	+54.4%	+77.5	7.7% 175	
税引前利益	9.6% 104.3	4.4% 44.7	+133.6%	+59.7	5.8% 63	9.4% 215	+53.2%	+74.7	7.7% 173	
当期利益	6.3% 68.9	2.7% 27.7	+148.8%	+41.2	3.9% 42	6.0% 137	+41.1%	+39.9	5.2% 117	

- ・ 販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)、その他収益、その他費用の合計額を記載
- ・ 当期利益は、親会社の所有者に帰属する利益を表示

IV. 業績見通しの上方修正(発表日:2021年11月5日)

単位: 億円
YoY = 前年同期比

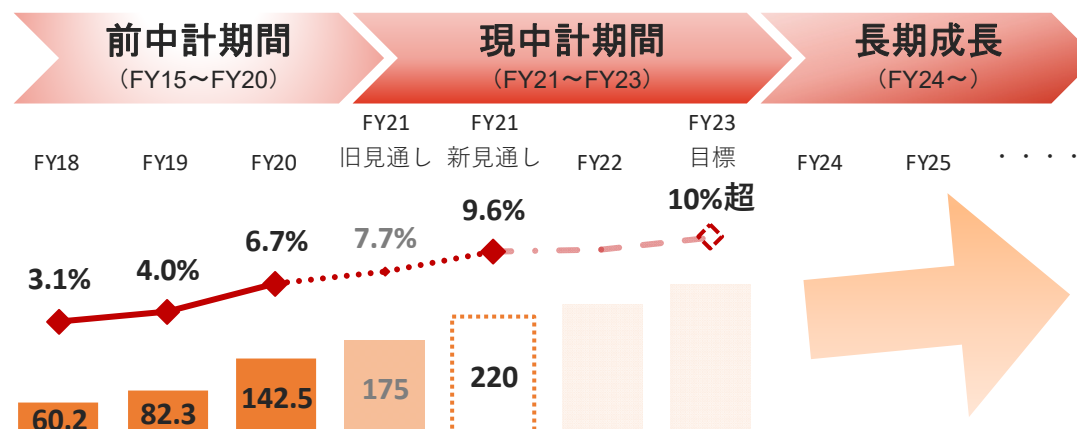
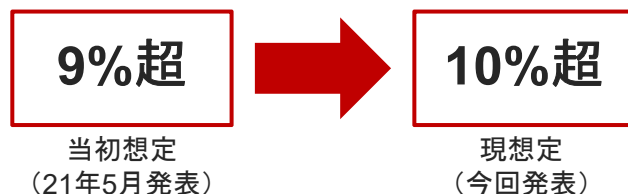
1. FY21通期見通しの上方修正

	売上高比			売上高比			
	新FY21見通し (2021年11月5日修正)	前期比		旧FY21見通し (2021年5月12日発表)	前期比		
売上収益	2,285	+7.3%	+155.0	2,260	+6.1%	+130.0	売上収益 ・ 下期もIP・セキュリティ・WAN等伸長で期初見通し超過の想定 ・ モバイルは△70億円前後YoY(期初想定は保守的設定)の想定 ・ SIはほぼ期初見通し通り
売上原価	1,787	+3.5%	+59.8	1,807	+4.6%	+79.8	
売上総利益	498	+23.6%	+95.2	453	+12.5%	+50.2	営業利益 ・ 通期もNWサービス粗利が修正牽引 ・ SI粗利はほぼ期初見通し通り ・ 販売管理費等はほぼ期初見通し通り
販売管理費等	278	+6.8%	+17.7	278	+6.8%	+17.7	
営業利益	220	+54.4%	+77.5	175	+22.8%	+32.5	税引前利益 ・ 上期増加は一時的ファンド評価益 ・ 通期は通常水準の営業外損益規模の想定
税引前利益	215	+53.2%	+74.7	173	+23.3%	+32.7	
当期利益	137	+41.1%	+39.9	117	+20.5%	+19.9	

- ・ 販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)、その他収益、その他費用の合計額を記載
- ・ 当期利益は、親会社の所有者に帰属する利益を表示

2. FY23中期計画営業利益率目標アップデート

FY23営業利益率目標



V. 配当見通し上方修正(発表日:2021年11月5日)

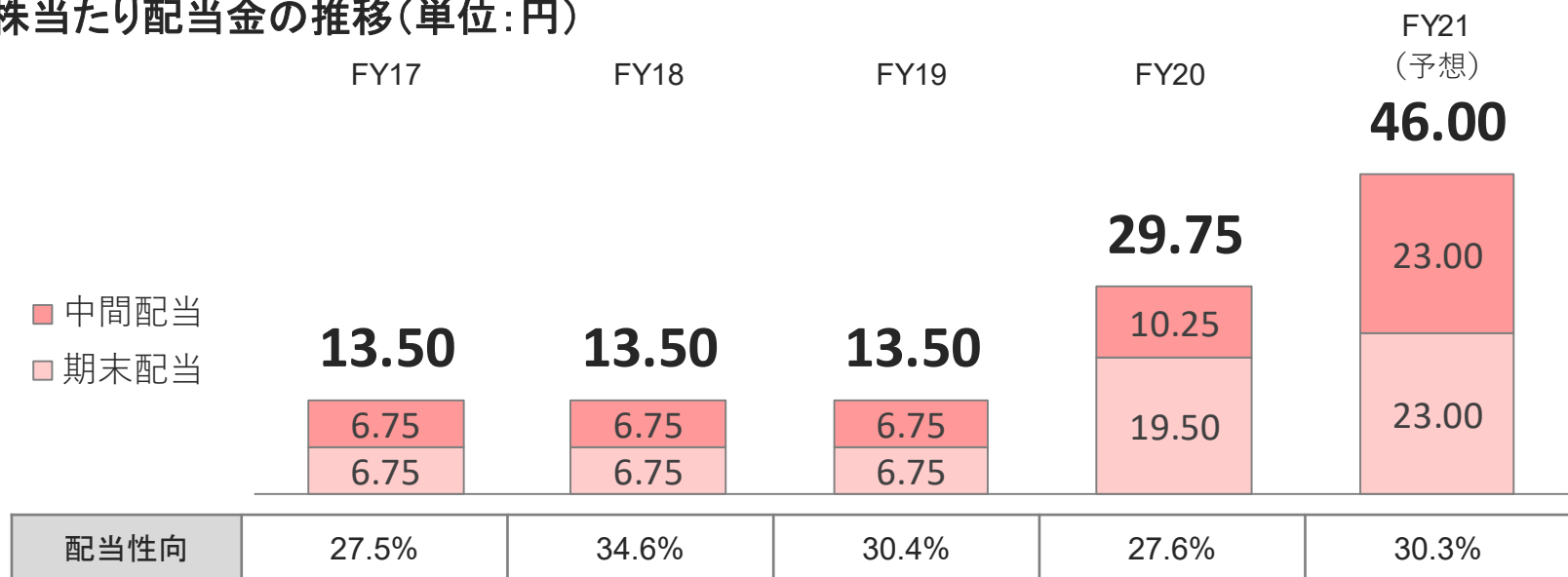
◆ 株主還元の基本方針:

財務体質の強化・中長期的な事業拡大・事業投資等のための内部留保に配慮しつつ安定的な配当を継続

◆ 増益進展に伴い中間配当より期初予想を超え増配

	FY20実績	FY21期初予想	FY21今回修正	前年同期比
中間配当(円)	10.25	19.50	23.00	+12.75
期末配当(円)	19.50	19.50	23.00	+3.50
年間配当(円)	29.75	39.00	46.00	+16.25

◆ 1株当たり配当金の推移(単位:円)



・ 2021年1月1日に当社株式1株を2株に分割しており、本スライドではそれ以前の配当額を分割後ベースに補正して表示



日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

事業等のリスク

本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。